

平成22年8月期 第2四半期決算短信(非連結)

平成22年3月29日

上場会社名 株式会社 ヒマラヤ

上場取引所 東 名

コード番号 7514 URL <http://www.himaraya.co.jp/>

代表者 (役職名) 取締役社長

(氏名) 小森 裕作

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役

(氏名) 谷口 光春

四半期報告書提出予定日 平成22年4月13日

配当支払開始予定日

TEL 058-271-6622
平成22年5月14日

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年8月期第2四半期の業績(平成21年9月1日～平成22年2月28日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 四半期純利益 | |
|-------------|--------|-----|------|------|------|------|--------|-------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 22年8月期第2四半期 | 22,349 | 2.7 | 782 | 47.4 | 829 | 59.4 | 201 | △64.4 |
| 21年8月期第2四半期 | 21,755 | — | 531 | — | 520 | — | 565 | — |

| | 1株当たり四半期純利益 | 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益 |
|-------------|-------------|--------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 22年8月期第2四半期 | 16.81 | — |
| 21年8月期第2四半期 | 47.21 | — |

(2) 財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 | 1株当たり純資産 |
|-------------|--------|-------|--------|----------|
| | 百万円 | 百万円 | % | 円 銭 |
| 22年8月期第2四半期 | 26,494 | 9,846 | 37.2 | 821.56 |
| 21年8月期 | 25,574 | 9,731 | 38.1 | 811.96 |

(参考) 自己資本 22年8月期第2四半期 9,846百万円 21年8月期 9,731百万円

2. 配当の状況

| | 1株当たり配当金 | | | | |
|----------------|----------|--------|--------|------|-------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 21年8月期 | — | 6.00 | — | 6.00 | 12.00 |
| 22年8月期 | — | 6.00 | — | — | — |
| 22年8月期 (予想) | — | — | — | 6.00 | 12.00 |

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成22年8月期の業績予想(平成21年9月1日～平成22年8月31日)

(%表示は対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 当期純利益 | | 1株当たり当期純利益 |
|----|--------|-----|-------|------|-------|------|-------|-------|------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 通期 | 45,000 | 1.7 | 1,110 | 24.4 | 1,180 | 29.7 | 250 | △58.9 | 20.86 |

(注) 業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

(1) 簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(注) 詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(2) 四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

① 会計基準等の改正に伴う変更 無

② ①以外の変更 有

(注) 詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 22年8月期第2四半期 12,320,787株 21年8月期 12,320,787株

② 期末自己株式数 22年8月期第2四半期 335,698株 21年8月期 335,649株

③ 期中平均株式数(四半期累計期間) 22年8月期第2四半期 11,985,114株 21年8月期第2四半期 11,985,204株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき算出したものであります。実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

定性的情報・財務諸表等

1. 経営成績に関する定性的情報

当第2四半期会計期間（平成21年12月1日～平成22年2月28日）における我が国の景気は、エコポイント制度などの経済対策や海外の景気回復を背景とした企業の生産拡大の動きにより持ち直す傾向がみられますが、企業の業況判断は厳しい状況が継続しております。雇用情勢に於いては有効求人倍率に若干の持ち直しの動きがみられるものの、完全失業率は高水準で推移しており、好転の兆しが見えない状況にあります。このような状況下、引き続き生活防衛意識の高まりから個人消費はより厳しい選別基準による消費活動になるものと注視しております。

同会計期間における当社の売上は、ウインタースポーツ用品は降雪に恵まれたものの、その影響は市場の縮小による下降トレンドを鈍化させるに留まり、売上高は前年同期比92.5%と低迷いたしました。一般スポーツ用品は前会計期間に引き続きランニングブームに代表される健康志向の高まりが継続したことに加え、保温、発熱といった高機能アンダーウェアの重点提案など季節対応の強化により、前年同期比115.4%と好調に推移いたしました。その結果、当会計期間の既存店売上高は前年同期比103.0%となり、全社売上高も105.0%となりました。売上総利益率は、12月上旬までの暖冬予測による季節商品の値下の前倒し、およびウインタースポーツ用品市場の縮小により35.9%となり前年同期比で2.4ポイント下落しております（※）。店舗については、不採算店の整理として、2月に前橋インター店（群馬県高崎市）、ホームズ寝屋川店（大阪府寝屋川市）の2店舗を閉店いたしました。これにより、平成22年2月末時点で全国に84店舗、売場面積は180,244㎡となりました。

以上の結果、当第2四半期会計期間は売上高12,906百万円（前年同期12,290百万円）、営業利益1,033百万円（前年同期1,151百万円）、経常利益1,064百万円（前年同期1,134百万円）、四半期純利益473百万円（前年同期847百万円）となりました。

平成22年8月期第1四半期に係る経営成績に関する定性的情報については、平成22年8月期第1四半期決算短信（平成21年12月29日開示）をご参照下さい。

※物流費の会計処理方法の変更の影響を排除した比較による。（参照 四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更）

2. 財政状態に関する定性的情報

①財政状態の変動状況

当第2四半期会計期間末における総資産は、前事業年度末に比べ、920百万円増加し26,494百万円となりました。この主な要因は、例年同様、特に12月・1月に売上が増大し、それに対する仕入債務の決済が概ね第3四半期以降に生じることなどから現金及び預金が1,533百万円増加したことによるものであります。

負債は、長期・短期合わせた借入金は1,185百万円減少しましたが、主に秋・冬物商品に係る仕入債務の増加や未払法人税等の増加により805百万円増加し16,648百万円となりました。なお、当期よりポイント引当金の計上を行い、当第2四半期会計期間末においては119百万円計上しております。

純資産は、主に利益剰余金の増加により、114百万円増加し9,846百万円となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は、前事業年度末に比べ1,533百万円増加し、4,189百万円となりました。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期累計期間における営業活動による資金の増加は3,318百万円（前年同期は1,417百万円増加）となりました。これは主に税引前四半期純利益、たな卸資産の減少および仕入債務の増加によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期累計期間における投資活動による資金の減少は527百万円（前年同期は1,163百万円減少）となりました。これは主に有形固定資産の取得による支出によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期累計期間における財務活動による資金の減少は1,256百万円（前年同期は108百万円の増加）となりました。これは主に短期借入金が増加したことによるものであります。

3. 業績予想に関する定性的情報

下半期の業績につきましては、引き続き厳しい経営環境が継続すると予測しており、また、当初想定しなかった店舗の減損が発生し当初予想を上回る特別損失が発生する可能性があります。

このような状況下で当社は、平成22年3月24日に公表しました平成22年8月期通期業績予想数値を達成するべく、厳しい選別消費に対する商品戦略を強化して売上高・売上総利益の確保を図り、人件費、店舗賃借料など諸経費の削減を引き続き積極的に進め、収益基盤の強化を推進して参ります。

4. その他

(1) 簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

①簡便な会計処理

固定資産の減価償却の算定方法

定率法を採用している資産については、当事業年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定しております。

法人税等ならびに繰延税金資産および繰延税金負債の算定方法

法人税等の納付税額の算定に関しては、加味する加減算項目や税額控除項目を重要なものに限定しております。

繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前事業年度末以降に経営環境等、または一時差異等の発生状況に著しい変化が認められた場合に、前事業年度において使用した将来の業績予想やタックス・プランニングに著しい変化による影響を加味したものを利用する方法によっております。

②四半期財務諸表の作成に特有の会計処理

該当事項はありません。

(2) 四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

(会計処理の原則・手続の変更)

物流費の会計処理方法

従来、物流センターに商品在庫としてストックし店舗へ納品する仕入形態の場合、物流センターにおける費用および物流センターから店舗への配送費用といった内部副費を売上原価に計上しておりましたが、第1四半期会計期間より販売費及び一般管理費として処理することに変更しております。

この変更は、トータル物流費用の削減を意図した数年来の物流体制の変更（現在は、上記の仕入形態あるいは仕入先から店舗への直送に替わり通過物流形態が主となっております。）に伴い、改めて会計処理の再検討を行った結果、通過物流に係る内部副費と同様に販売費及び一般管理費として計上することが物流費用全体の実態をより合理的に表示することとなり、財政状態および経営成績をより適切に表示すると判断した為であります。

この変更により、従来の方法に比べ、当第2四半期累計期間の売上原価は68,574千円減少し、売上総利益は同額増加し、販売費及び一般管理費が147,139千円増加しており、営業利益、経常利益および税引前四半期純利益がそれぞれ78,564千円減少しております。

(3) 追加情報

(ポイント引当金)

ヒマラヤカードポイントについて、従来、顧客のポイント使用時に売上値引処理しておりましたが、第1四半期会計期間より将来利用見込額を引当計上する方法に変更しております。

この変更は、近年、ポイント引当金の計上が会計慣行として定着しつつあること、および過去のポイントの使用状況に基づき将来使用されると見込まれる金額の合理的な見積りが可能となったことにより、当第2四半期会計期間末の残高のうち将来使用されると見込まれる金額をポイント引当金として計上しております。

この変更に伴い、ポイント引当金繰入額のうち当第2四半期会計期間末までに発生したポイント残高に対応する金額については売上高から控除し、前事業年度に発生したポイント残高に対応する金額については第1四半期会計期間末日において過年度ポイント引当金繰入額として特別損失に計上しております。

この変更により、従来の方法に比べ、当第2四半期累計期間の売上高が6,000千円減少し、営業利益および経常利益は同額減少しており、さらに特別損失が113,000千円増加し、税引前四半期純利益が119,000千円減少しております。

5. 四半期財務諸表
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

| | 当第2四半期会計期間末 (平成22年2月28日) | 前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成21年8月31日) |
|-------------|-----------------------------|--------------------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 4,240,182 | 2,706,244 |
| 売掛金 | 775,216 | 601,518 |
| 有価証券 | 10,056 | 10,141 |
| 商品 | 8,879,388 | 9,547,801 |
| 前払費用 | 391,627 | 389,672 |
| 繰延税金資産 | 305,099 | 187,348 |
| 未収還付法人税等 | — | 289,637 |
| その他 | 156,742 | 249,705 |
| 流動資産合計 | 14,758,313 | 13,982,070 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物及び構築物(純額) | 4,138,794 | 4,103,661 |
| 土地 | 1,299,528 | 1,299,528 |
| 建設仮勘定 | 228,257 | 91,964 |
| その他(純額) | 301,795 | 275,985 |
| 有形固定資産合計 | 5,968,375 | 5,771,140 |
| 無形固定資産 | | |
| ソフトウェア | 53,326 | 46,423 |
| その他 | 156,127 | 147,984 |
| 無形固定資産合計 | 209,453 | 194,408 |
| 投資その他の資産 | | |
| 投資有価証券 | 582,968 | 596,987 |
| 関係会社株式 | 20,000 | 20,000 |
| 長期貸付金 | 760,156 | 767,851 |
| 差入保証金 | 3,104,995 | 3,044,730 |
| 店舗賃借仮勘定 | 117,182 | 168,327 |
| 長期前払費用 | 377,438 | 388,966 |
| 繰延税金資産 | 313,439 | 253,442 |
| その他 | 296,068 | 399,786 |
| 貸倒引当金 | △13,425 | △13,425 |
| 投資その他の資産合計 | 5,558,824 | 5,626,668 |
| 固定資産合計 | 11,736,654 | 11,592,216 |
| 資産合計 | 26,494,967 | 25,574,286 |

(単位：千円)

| | 当第2四半期会計期間末 (平成22年2月28日) | 前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成21年8月31日) |
|---------------|-----------------------------|--------------------------------------|
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 支払手形及び買掛金 | 6,707,894 | 5,505,245 |
| 短期借入金 | — | 1,400,000 |
| 1年内返済予定の長期借入金 | 2,745,000 | 2,590,000 |
| 未払法人税等 | 386,890 | 27,172 |
| 賞与引当金 | 328,357 | 329,225 |
| ポイント引当金 | 119,000 | — |
| 店舗閉鎖損失引当金 | 10,927 | 10,500 |
| その他 | 866,131 | 612,037 |
| 流動負債合計 | 11,164,201 | 10,474,180 |
| 固定負債 | | |
| 長期借入金 | 5,050,000 | 4,990,000 |
| 役員退職慰労引当金 | 191,502 | 189,286 |
| その他 | 242,848 | 189,382 |
| 固定負債合計 | 5,484,351 | 5,368,669 |
| 負債合計 | 16,648,553 | 15,842,850 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 2,544,409 | 2,544,409 |
| 資本剰余金 | 3,998,145 | 3,998,145 |
| 利益剰余金 | 3,566,149 | 3,436,588 |
| 自己株式 | △188,179 | △188,163 |
| 株主資本合計 | 9,920,525 | 9,790,979 |
| 評価・換算差額等 | | |
| その他有価証券評価差額金 | △73,992 | △59,441 |
| 繰延ヘッジ損益 | △118 | △102 |
| 評価・換算差額等合計 | △74,110 | △59,543 |
| 純資産合計 | 9,846,414 | 9,731,436 |
| 負債純資産合計 | 26,494,967 | 25,574,286 |

(2) 四半期損益計算書
(第2四半期累計期間)

(単位：千円)

| | 前第2四半期累計期間 (自平成20年9月1日 至平成21年2月28日) | 当第2四半期累計期間 (自平成21年9月1日 至平成22年2月28日) |
|---------------|---|---|
| 売上高 | 21,755,336 | 22,349,497 |
| 売上原価 | 13,628,443 | 14,264,176 |
| 売上総利益 | 8,126,893 | 8,085,320 |
| 販売費及び一般管理費 | 7,595,680 | 7,302,366 |
| 営業利益 | 531,213 | 782,954 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 12,014 | 10,312 |
| 受取賃貸料 | 190,756 | 195,371 |
| 為替差益 | 1,390 | 566 |
| その他 | 31,370 | 68,561 |
| 営業外収益合計 | 235,531 | 274,812 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 63,337 | 61,091 |
| 不動産賃貸費用 | 171,711 | 165,391 |
| その他 | 11,285 | 1,692 |
| 営業外費用合計 | 246,334 | 228,175 |
| 経常利益 | 520,410 | 829,590 |
| 特別利益 | | |
| 役員退職慰労引当金戻入額 | — | 660 |
| 特別利益合計 | — | 660 |
| 特別損失 | | |
| 固定資産除却損 | 636 | 68 |
| 減損損失 | 13,242 | 240,174 |
| 店舗閉鎖損失 | 11,607 | 24,842 |
| 店舗閉鎖損失引当金繰入額 | — | 37,291 |
| 関係会社整理損 | 1,518 | — |
| 出店計画中止損 | — | 1,683 |
| ゴルフ会員権評価損 | — | 4,100 |
| 過年度ポイント引当金繰入額 | — | 113,000 |
| 特別損失合計 | 27,004 | 421,158 |
| 税引前四半期純利益 | 493,405 | 409,092 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 24,761 | 375,455 |
| 法人税等調整額 | △97,118 | △167,835 |
| 法人税等合計 | △72,357 | 207,619 |
| 四半期純利益 | 565,762 | 201,472 |

(第2四半期会計期間)

(単位：千円)

| | 前第2四半期会計期間 (自 平成20年12月1日 至 平成21年2月28日) | 当第2四半期会計期間 (自 平成21年12月1日 至 平成22年2月28日) |
|--------------|--|--|
| 売上高 | 12,290,757 | 12,906,318 |
| 売上原価 | 7,577,579 | 8,171,979 |
| 売上総利益 | 4,713,178 | 4,734,338 |
| 販売費及び一般管理費 | 3,561,536 | 3,700,702 |
| 営業利益 | 1,151,641 | 1,033,636 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 5,453 | 5,569 |
| 受取賃貸料 | 94,237 | 101,955 |
| 為替差益 | 286 | 226 |
| その他 | 10,509 | 37,396 |
| 営業外収益合計 | 110,486 | 145,147 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 30,733 | 29,056 |
| 不動産賃貸費用 | 87,193 | 84,367 |
| その他 | 9,968 | 611 |
| 営業外費用合計 | 127,895 | 114,035 |
| 経常利益 | 1,134,233 | 1,064,748 |
| 特別損失 | | |
| 固定資産除却損 | 437 | 68 |
| 減損損失 | 13,242 | 186,538 |
| 店舗閉鎖損失 | 198 | 23,787 |
| 店舗閉鎖損失引当金繰入額 | — | 3,850 |
| 関係会社整理損 | 1,518 | — |
| 特別損失合計 | 15,396 | 214,244 |
| 税引前四半期純利益 | 1,118,836 | 850,504 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 14,357 | 360,885 |
| 法人税等調整額 | 256,545 | 16,218 |
| 法人税等合計 | 270,903 | 377,104 |
| 四半期純利益 | 847,932 | 473,399 |

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

| | 前第2四半期累計期間 (自 平成20年9月1日 至 平成21年2月28日) | 当第2四半期累計期間 (自 平成21年9月1日 至 平成22年2月28日) |
|-------------------------|---|---|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 税引前四半期純利益 | 493,405 | 409,092 |
| 減価償却費 | 238,761 | 263,996 |
| 賞与引当金の増減額(△は減少) | △48,968 | △867 |
| 役員退職慰労引当金の増減額(△は減少) | 13,143 | 2,216 |
| ポイント引当金の増減額(△は減少) | — | 119,000 |
| 店舗閉鎖損失引当金の増減額(△は減少) | — | 427 |
| 減損損失 | 13,242 | 240,174 |
| 受取利息及び受取配当金 | △15,026 | △13,292 |
| 支払利息 | 63,337 | 61,091 |
| ゴルフ会員権評価損 | — | 4,100 |
| 固定資産除却損 | 636 | 68 |
| 店舗閉鎖損失 | 11,607 | 24,842 |
| 出店計画中止損 | — | 1,683 |
| 関係会社整理損 | 1,518 | — |
| 売上債権の増減額(△は増加) | 93,168 | △178,765 |
| たな卸資産の増減額(△は増加) | △207,414 | 668,344 |
| 仕入債務の増減額(△は減少) | 1,418,709 | 1,235,531 |
| 未払消費税等の増減額(△は減少) | △163,098 | 61,574 |
| その他 | 28,112 | 196,057 |
| 小計 | 1,941,137 | 3,095,272 |
| 利息及び配当金の受取額 | 5,002 | 4,498 |
| 利息の支払額 | △66,971 | △50,003 |
| 法人税等の支払額 | △461,439 | △20,556 |
| 法人税等の還付額 | — | 289,611 |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | 1,417,728 | 3,318,823 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 定期預金の払戻による収入 | — | 100,000 |
| 有価証券の取得による支出 | — | △10,350 |
| 有形固定資産の取得による支出 | △548,729 | △441,964 |
| 敷金及び保証金の差入による支出 | △371,487 | △187,167 |
| 敷金及び保証金の回収による収入 | 164,380 | 44,300 |
| 関係会社の整理に伴う貸付けによる支出 | △400,000 | — |
| 関係会社の整理に伴う貸付金の回収による収入 | 48,481 | — |
| その他 | △56,620 | △32,803 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | △1,163,974 | △527,985 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 短期借入金の純増減額(△は減少) | △400,000 | △1,400,000 |
| 長期借入れによる収入 | 1,900,000 | 1,500,000 |
| 長期借入金の返済による支出 | △1,320,000 | △1,285,000 |
| 配当金の支払額 | △71,911 | △71,910 |
| その他 | 0 | △16 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | 108,089 | △1,256,927 |
| 現金及び現金同等物の増減額(△は減少) | 361,843 | 1,533,909 |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | 2,750,138 | 2,655,792 |
| 現金及び現金同等物の四半期末残高 | 3,111,981 | 4,189,702 |

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。